

えんちょう先生の わくわくだより

NO. 12 令和2. 9. 24



おじいちゃん、おばあちゃん
のプレゼント



今年の夏は暑かった！プールでは泳げませんでしたが、先生達が知恵を出し合って農業用の散水パイプを園庭中に取り付けてのシャワー遊び。小さいプールをあちこちに置いて、水鉄砲や色水遊び。青いビニールシートを張ってのスライダー遊びも楽しかった。土と泥と水での遊びを満喫したよ。又、この暑さの中、子ども達は畑の草取りや水やりを頑張り、年少組はポップコーンを沢山収穫しました。年中組は、きれいなオクラの花を観察したり、あんな風に上に向かって伸びる野菜がある事も知りました。今は、落花生の収穫を心待ちしています。年長組は、沢山のニンジンや大根、キャベツも取れ、枝豆も食べました。観察画も書いたね。お蚕や、オタマジャクシ、カブトムシや蝶の幼虫も丁寧に面倒を見て、成虫になった喜びや、生き物の不思議も知ったよ。いつもとは違った夏も元気いっぱいの子供達でした。今度は新しい運動会に向けて張り切っているよ。今もラジオ体操を終えた子供達が大きく手を振りながら円周をスキップする姿が見えています。

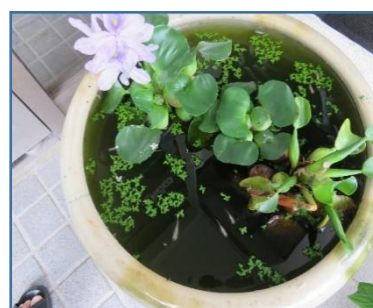
お父さん、お母さん運動会を楽しみにしてください。応援してね！



育つまでにはいろいろあるね！

岩村子ども園には114名の子ども達が生活していますが、まだ、気持ちも身体も未熟な子ども達が動けば日々、あちこちで、けんかが起こったり、すねたり泣いたり日常茶飯事。先生達は「あれあれ」「どれどれ」の繰り返しです。「これはやってはいけない事だよ」と一度言って全員が聞けるならこんなありがたいことはないのですが、そうはいかないのが子ども。だって、まだまだ成長過程の一つ一つを勉強中の子ども達だから、うまくコミュニケーションが取れなかったり、時には手が出たり、友達とうまく折り合えなかったりが当たり前なのです。...と言っても、やっていい事、これはやってはいけない事、などの規範意識が育つのも幼児期です。言葉も未熟、周りを見渡す力もまだ弱い、人の気持ちを理解できない子ども達にどう解らせていくか？本当に難しいですね。子どもが気持ちと体をバランスよく成長させるには人といっぱい関わって、体を使って経験をしていく以外にないです。「優しくしてね」と100回言っても優しくするとは、どうすることなのか？を知ることは出来ません。沢山の感動経験や、時には悲しい思いも乗り越える体験が人をつくります。今朝体操に出て行った時、年長組のH君がつかつかと近寄って来て「園長先生、昨日は逆上がりが出来たのに、今日はできなくなっちゃった～」とちょっと元気の無い声で言います。昨日は「園長先生、見に来て！初めて逆上がりが出来た！」と呼びに来てくれ、張り切ってやってみせるH君の姿を見ていたので、きっと今日も、よしやるぞ！と思ってやってみたらと想像できます。それなのに、やったら出来ない・・・その無念さを引きずっていたのでしょう。「そうか、今日はできなかったんだ～でも、園長先生が子どもの時もそうだったよ。出来たと思ったら次の日は出来なくなっちゃって、又頑張って練習したら出来て、又出来ん日もあって・・・でも大丈夫！出来たりできなかったりを繰り返して、その内、完璧に出来ちゃうだね。」と話し背中をポンと押すとうなずいて、少し微笑みながら体操に並ぶH君でした。何せ、子どもが大きくなっていくまでには、子ども自身の中にも、「思う様にならないなあ？」「うまくいかないなあ？」と思う事が山ほどあるでしょう。教え育てる！話して聞かせる！そんな時間を大事にしたいなあと思う事です。

沢山孵ったカブトムシ、土の中に卵らしき白いものが・・・



白メダカも玄関前でげんき！



園長先生、ポップコーンがとれたよ！



何匹も黄アゲハが孵ったよ



作った船はよく進む！



スライム作りは楽しい！



沢山の小さなおたまじゃくしがカエルになって バイバイ！

園でも家でも注意！

先日9/7日、東京の八王子市にて4歳の男児が給食のブドウをのどに詰まらせて死亡した事故が起こった事はニュースなどで知ってみえると思います。岩村子ども園には未満児の小さい子ども達も多いので、園内でも常日頃、注意喚起して、つい先日も職員の学習会で「誤嚥が起きた場合の職員訓練」をしたばかりです。随分気を付けて来たのですが、ブドウも詰まってしまうのか！と職員も気を引き締めなおした所です。子ども達も昔と比べると硬いものを嚙んだり飲み込んだりする力も弱くなっていると言われます。実際、園の給食でも巨峰が2つずつ出る事があるので、センターの栄養士さんにお話ししてみましたが、子ども園だけ変える事は難しい様ですので、ブドウの出た今日の給食時、3歳児は半分に切って出す。4.5歳児はかじって食べる事を改めて練習しました。いずれもよく嚙んで飲み込む練習です。今後は、果物に限らずどんな物でも危険と思ったら丸ごと口に入れない様にと言う事、良く話しておきました。又、日頃の生活の中、3才以上児でも、気が付くと口の中に石を入れていたり、おもちゃをくわえていたり、ヒヤッ！とすることがあります。どうか各ご家庭でも生活の中で、危険のない様に上手に座って食べる事から始まる安全で楽しい食事の仕方や、口の中には余分な物を入れない事等を、その都度教えてやって頂きたいと思います。